

エール

すばらしいみやぎを創る協議会



エールくん

vol.71

2026.3

TAKE FREE

令和7年度

みやぎ花のあるまちコンクール

👑 最優秀賞 につこり自治会(石巻市)



Contents • もくじ •

- 表紙 …… みやぎ花のあるまちコンクール最優秀賞
- 2 …… すばらしいみやぎを創る運動功績者紹介
- 3 …… すばらしいみやぎを創る運動功績者紹介
すばらしいみやぎを創る協議会研修会
- 4 …… みやぎ花のあるまちコンクール受賞団体紹介
- 5 …… 県民のつどい～安全・安心まちづくりフォーラム～
犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり県民運動
- 6 …… 県民運動トピックス
- 7 …… コミュニティ助成団体紹介
- 裏表紙 …… あなたのまちのコミュニティづくり





受賞者
紹介

仙台育英学園高等学校 (宮城県私立中学高等学校連合会)



▲ 地域のイベントで子供たちに普及啓発を行った

地域と未来をつなぐー 高校生が担う「シジュウカラガン復活プロジェクト」

絶滅危機から奇跡的に復活したシジュウカラガン。この渡り鳥を再び故郷に迎えるために、高校生や関係団体、地域住民が協力しています。

今回は活動を代表して仙台育英学園高等学校外国語コース教頭の石山かおりさん、3年の遠藤美月さん、亀山結愛さん、2年の児玉莉々子さん、そして協力団体である東北緑化環境保全株式会社の香川裕之さんにお話を伺いました。



▲ お話をお伺いした仙台育英学園高等学校教頭の石山かおりさん(前列左)、3年の遠藤美月さん(後列右)、亀山結愛さん(同中央)、2年の児玉莉々子さん(同左)、協力団体東北緑化環境保全株式会社の香川裕之さん(前列右)

かつて七北田川を挟んで仙台市、多賀城市にまたがる七北田低地に飛来していたシジュウカラガンを再び迎えるために、仙台育英学園高等学校外国語コースの生徒たちが中心となり、東北緑化環境保全(株)や日本雁を保護する会などや地域と協働する「復活プロジェクト」が進められています。子どもから大人まで幅広い世代にその魅力と歴史を伝え、環境保全への関心を育むこの活動は、地域の未来を考える大きなヒントとなっています。

シジュウカラガンは狩猟や環境変化によって絶滅寸前まで数を減らしましたが、保護活動により復活を遂げました。このプロジェクトは、地域住民の理解と協力を得ながら「地域の宝を未来へ残す」ことを目的としています。

活動の中心となる高校生たちは、観察会や講習を通じて環境問題に触れ、次第

に「自分の言葉で伝える」力を育んでいます。令和4年の観察会から始まり、ワークショップや交流会へと広がり、世代を超えた対話が生まれました。さらに環境をテーマに活動する高校生の姿は、世界各国をはじめの様々な人々から関心を集めています。

今後は多賀城市の図書館でのトークイベントや子ども向けワークショップを開催し、仙台市民を対象とした活動を行う予定です。観察会や交流イベントも継続し、地域に根差した活動を進めています。地域住民が知り、関心を持てる機会を大切にしています。小さな行動でも多くの人が関われば大きな力となります。

高校生たちは「ネイチャーポジティブ宣言」を掲げ、情報発信と身近な行動提案を行っています。こうした自発的な取り組みは地域に新しい行動のきっかけを与え、



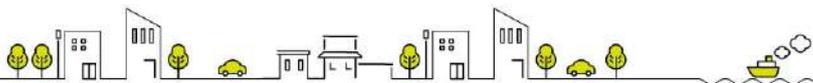
▲ 一般市民に向けたトークイベントの様子

自然と人の共生を考える羅針盤となっています。環境を守るだけでなく、地域的心を育み未来へつなぐ活動として次世代へ受け継がれていくことを願います。

※ネイチャーポジティブとは？
自然をこれ以上失わず、回復させていくことを目指すこと。地球の未来をよくするために、私たち一人ひとりが協力して自然を増やしていくという考え方です。



▲ おむすび交流会With仙台育英で地域住民と交流





受賞者紹介

個人の部

- 安全で安心なまちを創る運動
- 心の通い合う地域を創る運動
- 美しい生活環境を創る運動

仙台市南光台東生活学校副委員長
大宮 雪子さん〈仙台市〉

平成12年から地域の小中学校と協力して防犯パトロールを行い、子どもたちへの声かけやあいさつ運動を続けています。さらに、商業施設やゲームセンターを巡回し、青少年の犯罪防止にも力を入れています。EM菌を使った環境活動に加え、平成20年からは高齢者の見守りや異世代交流にも取り組み、地域活動に多大な貢献をしました。

- 安全で安心なまちを創る運動
- 心の通い合う地域を創る運動
- 美しい生活環境を創る運動

女川町大原北区健康推進委員・福祉推進委員
藤村 ハルミさん〈女川町〉

平成26年に町内で初めて災害公営住宅が完成し、新しい行政区ができた当初から、老人クラブや婦人部の一員として環境美化や文化活動に積極的に参加してきました。さらに世話人として、住民の健康と交流のために毎日広場でラジオ体操を続けています。新しい行政区の活性化と震災後の心のケアにも多大な貢献をしました。

受賞者紹介

団体の部

- 心の通い合う地域を創る運動

**吉田西部地区
まちづくり協議会**
〈亘理町〉

吉田小学校の児童減少とコロナ禍をきっかけに、令和2年から地域と小学校が合同で運動会を開催しています。準備や運営は協議会スタッフとPTAが力を合わせ、最後には地元企業協賛のピンゴゲームも行われます。地域が一つになって楽しめる大きな行事となり、街づくり・コミュニティづくりに多大な貢献をしました。

- 心の通い合う地域を創る運動
- 美しい生活環境を創る運動
- 地域文化を大切にする運動

**吉田東部地区
まちづくり協議会**
〈亘理町〉

東日本大震災の津波で音が消えてしまった吉田浜の「鳴り砂」。その復活を目指し、平成30年度から地域の皆さんが「吉田浜クリーンアップ作戦」として海岸清掃を続けています。海岸の自然の力も加わり、少しずつ砂の音が戻りつつあります。この活動は環境を守るだけでなく、住民の交流や地域文化の継承にも多大な貢献をしました。

- 安全で安心なまちを創る運動
- 心の通い合う地域を創る運動

四つ葉会
〈女川町〉

東日本大震災で沈んだ地域の気持ちを明るくしようと、平成23年にちんどん隊を結成しました。各地区のお茶会や福祉施設を訪ね、楽しい芸を披露して笑顔を届けています。令和2年からは認知症予防の寸劇にも挑戦し、詐欺被害の防止も呼びかけています。震災後の心のケアや安心・安全な地域づくりに多大な貢献をしました。



石巻合同庁舎(石巻市)にて、すばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会を開催しました。協議会推進委員、自治体職員、地域関係者など多数が参加。講演では、参加者から「歩みを止めない姿勢」や「共にまちづくりを！」ということばに感銘を受けたとの声や、視点を交えた見方の重要性を再認識する機会となりました。今後も、地域一丸となり、より良いまちづくりを目指すきっかけとなりました。



学生と創るみんなが笑顔になるまちづくり

令和7年
8月19日(木)
開催

講師 一般社団法人 CARNIVAL WORKS(所在地:福島県)
代表理事 江藤 大裕 氏

全国表彰 令和6年度あしたのまち・くらしづくり活動賞
総務大臣賞受賞団体



みやぎ花のあるまちコンクール

受賞団体紹介

花を咲かせて絆も咲く、
緑が結ぶ、地域の未来

花づくりや緑の活動を通して、地域づくりや人々との交流を進めている団体を表彰するコンクールです。

地域で協力し合う姿勢や世代を超えた交流、花壇の工夫やデザイン性、そして日々の努力や地域への思いなどを総合的に評価しました。

最優秀賞

にっこり自治会

〈石巻市〉

震災後の集団移転で生まれた新しい地域を元気にしようと、「花で美しいまちをつくる」思いを共有しながらコミュニティづくりを進めている自治会です。沿道や集会所に咲く花は、高齢者の散歩を促し、自然な見守りにもつながっています。さらに地元中学生が植栽レイアウトを考えるなど、世代を超えて郷土愛を育む取り組みを続けています。



優秀賞

沖野ひまわりプロジェクト

〈仙台市〉



児童館でグリーンボランティアを募り、子どもたちと一緒にひまわりの種まきを行っています。育った苗は地域団体や小中学校、福祉施設などへ届けられ、地域ぐるみの植栽活動へと広がっています。子どもから高齢者まで、多くの人が花を育てる喜びを共有し、まち全体で豊かな環境づくりを進めている団体です。

優秀賞

山王自治会

〈多賀城市〉



毎回、地域の幅広い世代から100名もの住民が参加し、多賀城遺跡などの美しい景観を守る活動を続けています。花を育てながら清掃や整備を行うことで、地域の交流が深まり、まち全体の魅力向上にもつながっています。美観維持とコミュニティづくりの両面で大きな力を発揮している団体です。

審査員特別賞

大衡村 衡中東自治会

〈大衡村〉



自治体で進めてきた花いっぱい運動をきっかけに、花づくりがさらに活発になっている地域です。植栽を通して子どもから高齢者まで交流が生まれ、笑顔が広がっています。また、リサイクル堆肥を使って土づくりにも取り組み、住民が力を合わせて美しい環境を守っています。

審査員特別賞

登米市迫町 森吐出集落

〈登米市〉



花壇づくりは、世代を超えた交流を生み出し、地域のつながりを深めています。また、防災スローガンを入れた鉢植えを配布することで、防災意識を自然に高める工夫も行っています。花をきっかけに人が集い、安心して暮らせる地域づくりへとつながっている、魅力あふれる取り組みを行っています。

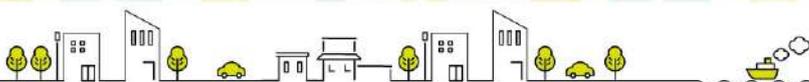
審査員特別賞

東笠島 地域資源保全隊

〈角田市〉



年間計画を立てて住民の意識を高めながら、協力し合える体制を築いています。地元産の堆肥を使った花壇づくりに加え、休憩スペースの整備やイベントの開催など、花を中心に人が集まる場を生み出しています。花壇を通して地域の交流が深まり、心地よいまちづくりに貢献している団体です。



すばらしいみやぎを創る運動

第59回「県民のつどい」

～安全・安心まちづくりフォーラム～

地域を明るく 未来を照らす つながりが守る みやぎのまち



▲ 表彰式の様子

令和7年11月12日、ホテル白萩(仙台市)にて、「すばらしいみやぎを創る運動『県民のつどい』安全・安心まちづくりフォーラム」が開催されました。当日は、地域を支えるリーダーや防犯活動に携わる方など、県内各地から約140名が参加しました。冒頭では、運動に貢献した個人や団体の表彰が行われ、さらに宮城県と共催する「みやぎ花のあるまちコンクール」の表彰も実施されました。



▲ 安全安心なまちづくりパネル展示

活動紹介では、一般社団法人WATALIS代表理事の引地恵氏が登壇。震災後に地元女性たちが立ち上げ、地域コミュニティの再建に取り組んできた活動について紹介しました。

記念講演では、一般社団法人スクールポリスの佐々木成三氏が「犯罪を生まない環境づくり」をテーマに講演。テレビ出演など幅広く活躍する佐々木氏の話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また会場では、安全で安心なまちづくりを推進するためのパネル展示も行われ、来場者に向けた啓発活動が展開されました。



▲ (一社)スクールポリス佐々木成三氏による講演

その警察官は本物ですか?

ニセ警察詐欺被害が増えています!

電話で、警察官を名乗る犯人から「あなたの口座が犯罪に使われている」などと理由をつけられた上、「資産を保護する」「口座を調査する」などと言われ、現金や金塊を騙し取られる特殊詐欺被害が増えています。

警察官を名乗る犯人は、ビデオ通話での連絡を求め、ニセの警察手帳や逮捕状を見せてくるので注意が必要です!!

実際に使用された画像(ニセ警察官と警察手帳)
出典:警察庁Webサイト
<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/newtopics/241218/02.html>

地域安全教室 講師派遣事業

宮城県では「安全・安心まちづくり」の支援の一環として、各地域、学校、施設、企業等で開催する講習会などに、防犯に関する講師を無料派遣していますので、ぜひご利用ください。

例

- ▶ 特殊詐欺被害防止に関すること
- ▶ 防犯対策(不審者対応)に関すること
- ▶ 効果的なパトロールに関すること

詳しくはこちら(県ホームページ)

問い合わせ 宮城県環境生活部共同参画社会推進課 安全・安心まちづくり推進班 TEL022 (211)2567



すばらしいみやぎを創る運動推進助成事業活動費の助成紹介

～動き出そう、すばらしいみやぎへの一歩 行動が地域の活力になる～

すばらしい
おながわを創る協議会

- 安全で安心なまちを創る運動
- 心の通い合う地域を創る運動

3つの愛【支えあい、励ましあい、つながりあい】見守り活動を実施し、心の交流を図り、安心・安全で豊かな地域づくりに貢献する活動を行いました。

すばらしい
やまもとを創る協議会

- 地域文化を大切にす運動

復興が進む中、芸術作品を通じて、震災前から変わらぬ、あるいは震災後、新たに誕生した地域の魅力を見つけ出し、郷土愛を育む事業を行いました。

宮城県小学校長会

- 安全で安心なまちを創る運動
- 心の通い合う地域を創る運動
- 美しい生活環境を創る運動

大崎市立古川第五小学校が防災教室「災害を正しく知り、命を守る非常食づくり」、加美町立鹿原小学校が「一輪車研修会・発表会(交流会)」、栗原市立若柳小学校が「若小アクションプランプロジェクトKTC」と称した花壇整備を地域住民と協力して行いました。

宮城県中学校長会

- 安全で安心なまちを創る運動
- 心の通い合う地域を創る運動
- 地域文化を大切にす運動

令和8年度末に閉校となる蔵王町立宮中学校の生徒と地域が一体となるように地域住民と共同で、宮地区あいさつ活性化運動を行いました。

宮城県私立
中学高等学校連合会

- 美しい生活環境を創る運動

聖ウルスラ学院英智高等学校の生徒が市バス停「若林区文化センター」前花壇周辺を整備し、地域の美化活動に関わる活動を行いました。



日本ボーイスカウト
宮城県連盟

- 安全で安心なまちを創る運動
- 心の通い合う地域を創る運動

体験型防災講座を実施し、障がい体験等を考える活動を通じて思いやりを育み、ボーイスカウトの地域貢献等を高める活動をしました。



すばらしいみやぎを創る運動を実践している団体

令和7年度「宮城県生活学校連絡協議会」事業紹介

— 気づく、動く、変えていく!暮らしの未来をつくる生活学校 —

毎日の暮らしを、もっと安心で、心地よく。そんな願いを胸に、地域の女性たちが中心となって歩み続けてきた学びと実践の場です。

宮城県生活学校はより良い地域社会をつくるための活動を続けています。

食品の安全性を高める取り組み、リサイクルなどの推進、子育てしやすい環境づくり、利用しやすい公共サービスの拡充。どれも、暮らしの中で「こうだったらいいのに」を形にしてきました。

宮城県生活学校研究交流集会

令和7年10月30日(木)開催

- 1 基調講演 「いつまでも輝いて活躍するために」
仙台市松陵地域包括支援センター 所長 松本 国昭 氏
- 2 出前講座体験 ペット帽・クラフトテープペンダント・宝箱づくり

宮城県生活学校運動大会

令和8年2月4日(水)開催

- 1 基調講演 「音楽で心も体もリフレッシュ～音楽レクリエーションを通して～」
音楽レクリエーション指導者協会特任理事 武田 夏子 氏
- 2 フリートーク 生活学校の活動について
- 3 環境についての実践活動 一人のできるほかしづくり



▲ 宮城県生活学校運動大会の様子

新しく生活学校をつくってみませんか?お問い合わせはすばらしいみやぎを創る協議会事務局まで

加美町（上狼塚区）

加美町は、宮城県の北西部に位置し、東西に約32キロメートル、南北に約28キロメートル、面積は約461平方キロメートルあり、県内でも有数の面積を有しています。本町には、79の行政区があり、そのうちの「上狼塚区」において、令和6年度コミュニティセンター助成事業を活用し、「上狼塚区コミュニティセンター整備事業」を実施しました。

上狼塚区は、本町の北東部に位置する広原地区にあり、人口210人、74世帯が暮らしています。区長を中心に地区活動が行われ、その内容は衛生・環境整備・防災・福祉・生涯学習など多岐に渡っています。

この地域のコミュニティ活動などの拠点となる集会所は築56年が経過し、長年、地区民から愛されてきましたが、老朽化と白アリ被害に悩んでおり、集会所や多数の地区民が参加する行事などのコミュニティ活動に支障をきたしている状況でした。また、バリアフリーがない建物で、子どもから高齢者までのあらゆる世代が安心して利用できる状態ではなく、令和2年から総会でセンターの建設について話し合いを重ねて資金を募り、整備を計画しました。

センターを整備したことで、バリアフリーが実現し、どの世代の方でも利用しやすい、コミュニティ活動の拠点として生まれ変わりました。これからも地域の方々がセンターを積極的に活用し、充実したコミュニティ活動ができ、地域住民のコミュニティ意識の醸成と文化・福祉の増進に繋がることを大いに期待しています。



宝くじ社会貢献広報事業の紹介

蔵王町（遠刈田行政区）

蔵王町は、東北の霊峰・蔵王連峰の東麓、宮城県南西部に位置し、昭和30年に宮村と円田村が合併して誕生しました。町域の約6割が山林・原野で占められ、高原育ちの新鮮な牛乳から作られる乳製品や、丘陵地を利用した果樹栽培などが盛んに行われています。現在の人口は約10,600人で、県内有数の名湯・遠刈田温泉を有する自然豊かな町です。

当行政区は昭和47年に組織され、現在は約360世帯で構成されています。地域の活動拠点である遠刈田公民館は、消防団や子ども会、老人会などの活動の場として広く利用され、災害時の避難所としての役割も担ってきました。しかし、これまでイベント時の音響機器はその都度レンタルをして調達を行っており、テントも老朽化が進んでいるなど、設営や調達が大きな負担となっています。

今回、一般コミュニティ助成事業により機器等を整備したことで、準備の負担が軽減され、継続的な活動が可能となり、皆様からも大変好評です。今後も、今回の助成で整備した備品を活用し、より一層のコミュニティ活動の活性化に努めてまいります。



あなたのまちの コミュニティづくりがもっと進む!

宝くじが 地域活動を 支えています



地域の町内会や自治会では、環境をきれいにしたり、住みやすいまちをつくるための活動が日々行われています。その中で、「この道具があればもっと作業がしやすいのに」「こんな設備があったら、もっとみんなが参加しやすくなるのに」と感じたことはありませんか。

実は、そうした地域の声を応援する助成があります。一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの収益金を活用して、市町村を通じて町内会・自治会の活動を支援しています。地域を良くしたいという皆さんの思いを、必要な施設や備品の整備という形で後押しする制度です。



コミュニティセンター 助成事業



加美町 (上狼塚区)

地域の人たちが集まって活動できる場所をつくるために、施設づくりを支援します。たとえば、コミュニティセンターを新しく建てる場合や、建物の主要な部分に関わる大規模な修繕を行う場合が対象です。また、こうした工事に合わせて、施設に必要な机やイスなどの備品を整備する費用も助成の対象になります。



一般コミュニティ 助成事業



名取市 (高館吉田第一町内会)

地域のみなさんが一緒に活動するために必要な道具や設備をそろえる費用を支援します。たとえば、地域をきれいにするための道具、文化や学びの場で使うもの、運動やレクリエーションに使う用具など、さまざまな活動に役立つ備品が対象になります。



青少年健全育成 助成事業



地域の子どもたちが健やかに成長できるよう、親子で参加できる活動を応援します。助成の対象となるのは、自然の中で行う体験活動、スポーツイベント、レクリエーション大会など、地域で行われるさまざまな親子向けの催しです。

本事業に関する
お問い合わせは

各市町村コミュニティ担当課までお問い合わせください。(仙台市を除く。)

令和8年3月発行
第71号

発行/すばらしいみやぎを創る協議会 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県環境生活部共同参画社会推進課内
TEL022 (211)2576 FAX022 (211)2392

